

# 2020年10月度 名著セミナー読書会 事前設問アンケート

- 2020年10月10日午後：Zoomビデオシステムによるリモート読書会を予定しています。
- 尚、名著セミナーに関する電話連絡は、全て事務局 090-6347-3295 にして下さい。

課題図書：『情報生産者になる』

上野千鶴子 著

ちくま新書

実施：2020年10月10日(土) 13:00～

(はじめに)

読書セミナーの中には、課題本について書かれた時代背景を分析したり、著者自身について調べたりして、本そのものを味わうだけでなく、多面的多角的に本を解体して学ぶ場合があります。

楽しみながら学ぶための分析なら、著者も冥利に尽きることでありましょうが、いじくり過ぎて深読みし、挙句の果てに「つまらなかった」「名著にふさわしくない」などの批判も含めて評論家のような討論会となることがあります。こんな時、私はどこかに違和感がありました。三ツ星レストランのシェフの料理を自分は作ることもできないのに批評しているようで、それほどの味覚が自分に備わっているのか…と思う感じに似ています。そして、この本に出合って「はっ」と気づかされました。

今までの私は「批判は読者の特権 (P284)」という著者の言葉に甘んじ、情報消費者として胡坐をかいていたのではないか、このセミナーでも20年間200冊と豪語しても、自分は一冊も書いたことがない…。

学問とは「強いて勉めるのではなく、学んで問うもの (P9)」という著者に誘われながら、「情報生産者」になることに挑戦してみたい。名著セミナーの皆さまと一緒にだったら、なお心強い。こんな思いで推薦した本です。ですから設問もこの課題本という枠を超えて、私たちが情報生産者になるための問となっています。皆さまの回答を楽しみにしております。



## 設問内容

1	<p>I「情報生産の前に」とII「海図となる計画をつくる」を読んで、これから皆さんが社会に発信したいと考える「問い」を立ててください。今まで、ご自身が専門としていた分野でも、これから取り組んでみたい分野でも構いません。そして、その「問い」を立てた理由をお答えください。</p>
2	<p>III「理論も方法も使い方次第」IV「情報を収集し分析する」を読んで、【1】で立てた「問い」を分析するために必要な情報収集方法（アンケート調査、KJ法、インタビューなど）を考えて、その内容を書いてください。</p> <p>（例としてアンケート調査をするなら、どんなアンケートを誰にいつ、何人くらいに実施するのか、など）</p>
3	<p>V「アウトプットする」を読んで、目次を組み立て、「つかみ (P256)」を書いてみましょう。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>セミナー当日では、参加者からコメントを頂きます。(P283)</p> <p>☆今回は、Zoom会議になりそうなので、3問までにしました。時間のゆとりがありましたら読后感想など、自由討論にしたいと思います。</p>

回答と返信上の注意：上記の各質問への回答は、回答のみをA4用紙の1枚に纏めてください。

回答用紙の最上段に以下を記載し、その行の下から、1、2、3、の順に、番号と回答のみを書いてください。

回答者： \_\_\_\_\_ 『情報生産者になる』 上野千鶴子著 ちくま新書 実施 20年10月10日(土)

回答送付先/ Eメール rz.tominaga@ac.auone-net.jp

回答締切 20年10月4日(日)